



平成24年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月7日

上場取引所 東

上場会社名 アクセルマーク株式会社

コード番号 3624 URL <http://www.axelmark.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 尾下 順治

問合せ先責任者 (役職名) 管理部門担当取締役

(氏名) 渡邊 祐也

TEL 03-5354-3351

四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第1四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第1四半期	924	—	74	—	76	—	75	—
23年9月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 24年9月期第1四半期 75百万円 (—%) 23年9月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第1四半期	1,691.42	—
23年9月期第1四半期	—	—

平成24年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年9月期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第1四半期	1,832	1,423	77.7
23年9月期	—	—	—

(参考) 自己資本 24年9月期第1四半期 1,423百万円 23年9月期 1百万円

平成24年9月期第1四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成23年9月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年9月期	—	—	—	—	—
24年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,844	—	138	—	138	—	137	—	3,048.58
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 1. 当四半期における業績予想の修正の有無 : 無

2. 通期の業績予想に代えて翌四半期の業績予想を開示しております。詳細は四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期1Q	44,939 株	23年9月期	28,877 株
24年9月期1Q	230 株	23年9月期	230 株
24年9月期1Q	44,709 株	23年9月期1Q	28,355 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7
(6) 重要な後発事象	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるモバイルインターネットを取り巻く環境は、携帯電話の契約者数が、平成23年12月末で1億2,175万契約（出所：社団法人電気通信事業者協会）に達しており、また、当社が注力事業と位置づけるソーシャルゲームの市場は、平成22年度に1,400億円、平成23年度に2,570億円、さらに、平成24年度には3,429億円となる見込みとなっており、引き続き拡大しております（出所：矢野経済研究所）。

このような環境を踏まえ、さらなる業容拡大と企業競争力の強化を図るべく、当社は平成23年10月1日付でエフルート株式会社（以下、「エフルート」といいます。）と合併いたしました。この合併により、エフルートの100%子会社2社（エフルートレックス株式会社及びエフルート・モバイル・テクノロジー株式会社）を連結の範囲として取り込むことにより、当第1四半期連結会計期間より連結決算を開始しております。

また、連結決算の開始に伴い、報告セグメントを「ソーシャルゲーム事業」、「コンテンツ事業」、「広告事業」の3つに定め、経営成績の把握を行っております。

当第1四半期連結累計期間においては、エフルートとの合併によるシナジー効果を最大限発揮すべく、当社が注力事業と位置づけるソーシャルゲーム事業拡大に向けた体制構築、並びに既存事業の運営体制の見直しによる効率化を進めてまいりました。また、販管費につきましても、合併前に2か所となっていたオフィスの統合（平成23年10月実施）による地代家賃の削減等、経費削減をはかることができました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は924,758千円、営業利益は74,803千円、経常利益は76,570千円、四半期純利益は75,621千円となりました。

各セグメントの業績は、次の通りであります。

（ソーシャルゲーム事業）

ソーシャルゲーム事業におきましては、株式会社ディー・エヌ・エーが運営する「Mobage（モバゲー）」において展開するソーシャルゲームの売上が順調に推移しております。具体的には、当社のヒットタイトル「キングダムクロニクル」が昨年10月度売上高5,000万円以上を達成したのち、その後も引き続き売上が拡大しております。また、平成23年11月に新たにリリースした「王様ゲーム」も順調に売上を伸ばしております。

以上の結果、当セグメントの売上高は、259,045千円、セグメント利益は69,241千円となりました。

（コンテンツ事業）

コンテンツ事業におきましては、「音楽」「書籍」「動画」など既存の携帯電話向けコンテンツの売上が伸び悩む中、エフルート株式会社との合併による運営体制効率化、並びに不採算コンテンツの整理を進めることで収益性向上を図っております。また、スマートフォン向けアプリについては、iPhoneやAndroid端末向けの電子書籍、既存携帯電話向けコンテンツのスマートフォン対応等、スマートフォン向けアプリ市場の立ち上がり具合を注視しながら推進しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は、448,304千円、セグメント利益は61,832千円となりました。

（広告事業）

広告事業におきましては、既存の携帯電話向けを中心とした広告ネットワーク事業を主力サービスとして展開しており、当第1四半期連結累計期間においては、広告主からの継続的な受注もあり、堅調に推移しております。

また、海外事業では、インドネシア、マレーシア、ベトナム等東南アジア各国を中心として試験サービスを展開しており、将来の市場拡大に備えて、投資的な位置づけで事業推進しております。

以上の結果、当セグメントの売上高は、225,225千円、セグメント利益は3,435千円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の流動資産合計は、1,278,627千円となりました。その主な内訳は、現金及び預金610,890千円、並びに売掛金640,775千円であります。固定資産合計は、553,706千円となりました。その主な内訳は、有形固定資産30,332千円、無形固定資産351,409千円、敷金及び保証金296,881千円、並びに貸倒引当金144,268千円であります。負債合計は、409,089千円となりました。その主な内訳は、買掛金282,852千円であります。純資産合計は、1,423,244千円となりました。その主な内訳は、資本金563,900千円、資本剰余金1,164,474千円、利益剰余金がマイナス299,016千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年1月25日付「業績予想の開示方針の変更並びに連結業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、当社の事業を取り巻く環境は急速に変化しており、事業の成長速度を予測することが難しいことから、信頼性の高い通期及び半期の業績予想数字を算出することが困難なため、今後は四半期ごとの業績予想を開示させて頂く方針に変更しております。

平成24年9月期第2四半期連結会計期間業績予想（平成24年1月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
第2四半期	百万円 919	百万円 63	百万円 62	百万円 61	円 銭 1,357.40

平成24年9月期第2四半期連結累計期間業績予想（平成23年10月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
第2四半期(累計)	百万円 1,844	百万円 138	百万円 138	百万円 137	円 銭 3,048.58

なお、上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成23年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	610,890
売掛金	640,775
その他	35,269
貸倒引当金	△8,308
流動資産合計	1,278,627
固定資産	
有形固定資産	30,332
無形固定資産	
のれん	344,050
その他	7,359
無形固定資産合計	351,409
投資その他の資産	
敷金及び保証金	296,881
その他	19,350
貸倒引当金	△144,268
投資その他の資産合計	171,963
固定資産合計	553,706
資産合計	1,832,334
負債の部	
流動負債	
買掛金	282,852
短期借入金	5,000
未払法人税等	1,993
賞与引当金	7,191
ポイント引当金	17,356
その他	94,694
流動負債合計	409,089
固定負債	
固定負債合計	—
負債合計	409,089
純資産の部	
株主資本	
資本金	563,900
資本剰余金	1,164,474
利益剰余金	△299,016
自己株式	△6,113
株主資本合計	1,423,244
その他の包括利益累計額	
その他の包括利益累計額合計	—
純資産合計	1,423,244
負債純資産合計	1,832,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
売上高	924,758
売上原価	548,338
売上総利益	376,420
販売費及び一般管理費	301,616
営業利益	74,803
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	170
違約金収入	1,889
その他	1,648
営業外収益合計	3,709
営業外費用	
支払利息	196
株式上場関連費用	866
その他	879
営業外費用合計	1,943
経常利益	76,570
特別利益	
貸倒引当金戻入額	4,754
特別利益合計	4,754
特別損失	
役員退職慰労金	5,000
特別損失合計	5,000
税金等調整前四半期純利益	76,324
法人税、住民税及び事業税	703
法人税等合計	703
少数株主損益調整前四半期純利益	75,621
少数株主利益	—
四半期純利益	75,621

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益		75,621
その他の包括利益		
その他の包括利益合計		—
四半期包括利益		75,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		75,621
少数株主に係る四半期包括利益		—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 当第1四半期連結累計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	ソーシャル ゲーム事業	コンテンツ 事業	広告事業	計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	259,045	448,304	217,408	924,758	—	924,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	7,817	7,817	△7,817	—
計	259,045	448,304	225,225	932,576	△7,817	924,758
セグメント利益	69,241	61,832	3,435	134,509	△59,705	74,803

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内訳（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	134,509
のれんの償却額	△15,371
全社費用（注）	△44,334
四半期連結損益計算書の営業利益	74,803

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社管理費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

全社において、平成23年10月1日付けでのエフルート株式会社との合併に伴い、当第1四半期連結累計期間にのれんが307,421千円発生しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年10月1日付けでエフルート株式会社と合併しました。

この結果、当第1四半期連結会計期間において資本剰余金が541,269千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が1,164,474千円となっております。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。